

平成29年度 介護ロボットメーカー連絡会議の実施について

1. 趣旨

少子高齢化が進展する我が国において、介護ロボットの開発・普及は喫緊の課題となっている。こうした中、厚生労働省では「**介護ロボット開発等加速化事業**」を創設し、機器開発の着想を促す方策としてニーズ・シーズ連携協調協議会の設置から、試作段階にある機器のモニター調査の実施、さらには実用化した介護ロボットの利活用に促進する介護技術の開発支援モデル事業等の実施に着手している。

また、本年6月に閣議決定された「**未来投資戦略2017**」においては、自立支援等による利用者の生活の質の維持・向上と、介護者の負担軽減の両方を実現するため、現場のニーズを真に汲み取って開発シーズとつなげられるよう、プロジェクトを牽(けん)引するプロジェクトコーディネーターを新たに育成・配置すること。さらにはロボット介護機器の開発重点分野について再検証を行い、戦略的な開発の方向性を取りまとめ、来年度以降の新たな開発支援対象に反映させることと明記されたところである。

こうした背景のもと、「**介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）**」は、介護ロボットの開発・普及に向けた課題を共有化するとともに、在宅・施設等の事業者に対して介護ロボットの適切かつ効果的に利活用を促す取り組み、さらには介護現場のニーズや介護分野での応用が可能な技術シーズを的確に捉えた、新たな介護ロボットの開発を喚起する取り組み等を行うことを目的に本会議を開催することとする。

2. 事務局

本会議は、福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における介護ロボット等の普及・啓発事業の一環として位置付け、当協会が行うこととする。

公益財団法人テクノエイド協会 担当：加藤、山下、嶋谷、五島 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階 電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885 E-mail robocare@techno-aids.or.jp

3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- ロボット介護機器開発・導入促進事業において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）

（さらに本年度から）

- 介護ロボット等導入支援特別事業及び介護ロボットの導入支援及び導入効果実証研究事業において、採用された介護ロボットのメーカー
- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクと

ローテクは問わないこととする。)

- ※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの名簿に基づくテクノエイド協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命イニシアティブ協議会、三菱総合研究所等にも周知をお願いします。
- ※ 本年度の開催は、本会議を1回、介護ロボットフォーラム2017を1回、それぞれ開催することとする。

4. 参加申し込み

(参加申込み)

参加を希望するメーカー及び関係機関等については、別添「参加申込書」に所定の事項を記載し、平成29年10月23日(月)までに、当協会あて電子メール又はファクシミリにて提出すること。但し、参加者多数の場合には、会場等の都合により、参加をお断りする場合がありますことをご容赦ください。

(参加費)

無料(但し、旅費は参加者負担となります。)

5. 当面の事業内容

- ① 全国9か所の介護実習・普及センターで行う「介護ロボット普及モデル事業」等の対象製品として位置付け、普及啓発事業の推進にご協力いただく。
- ② 全国各地の各種団体等において、運営企画される介護ロボットに関するイベントや展示等に対して、積極的にご協力をいただく。具体的には、当協会がホームページに開設している「介護ロボット等試用貸出事業」の趣旨にご理解を頂き、普及啓発の情報発信に努めることとする。
- ③ 介護ロボットフォーラムの場を活用し、介護施設等に対して当該製品の周知を行うとともに、介護現場の課題やニーズの収集、さらには企業や研究機関等との技術連携を積極的に行い、もって新たなイノベーションの創出に努めることとする。
- ④ 本会議に参加するメーカーを通じて、実際に介護ロボットを利活用している介護施設等にご協力を募り、導入検討のプロセスと利用効果等を紹介する導入事例集を作成するとともに、フォーラムの場面を活用して事例発表大会を行い、もって知識の共有化を推進し、利用の輪を拡大することとする。

6. 事業計画(案)

(介護ロボットメーカー連絡会議)

(1) 日時：平成29年10月30日(月) 11時00分～15時30分

(2) 場所：四ツ谷 主婦会館プラザエフ 9階 スズラン

(3) 内容：

第1部 11時00分～12時20分

(基調報告)

○未来投資戦略2017に基づく介護ロボットに係る施策の動向

- ・厚生労働省老健局 高齢者支援課 田口課長補佐
- ・経済産業省製造産業局 産業機械課 石田課長補佐

(事業報告)

- 介護ロボットの開発・普及・実証に関する取り組み
 - ・福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施（テクノエイド協会）
 - ・導入支援及び導入効果実証研究事業
 - ・ロボット介護機器の効果測定事業
- } 審議会等の動向により検討

第2部 13時20分～15時30分

- メーカー連絡会議の事業説明（テクノエイド協会）
 - ・事例集の作成
 - ・試用貸出事業の実施
 - ・介護ロボットフォーラム2017
- 介護ロボットメーカーによる現状及び導入効果の報告（メーカー4社）
 - ・見守支援機器
 - キング通信工業（株） 吉村 真人
 - パラマウントベッド（株） 伊藤 秀明
 - ・移乗支援機器
 - （株）イノフィス 阪口 直美
 - 富士機械製造（株） 中根 伸幸

} 各20分
- 現場ニーズを具現化するための方策（フリートーク）
 - ・ニーズとシーズをつなぐコーディネーターの役割と機能のあり方を考察する

（介護ロボットフォーラム2017）（検討中）

- (1) 日時：平成30年1月23日（火）11時00分～16時30分 **※開催日決定**
- (2) 場所：TOC有明 WESTホール（東京都江東区有明）
- (3) 対象：

- ・高齢者施設・居宅介護サービス事業者
 - ・障害者施設・在宅サービス事業者
 - ・医療療養又は介護療養の病床を有する病院等
 - ・サービス付き高齢者向け住宅事業者
 - ・地域包括センター及び介護実習・普及センター
 - ・都道府県又は市町村 担当者
 - ・事業者団体（施設・製造・供給・職能）
 - ・福祉用具メーカー、供給事業者、研究者、地域の産業振興団体、新規参入を検討する者
 - ・報道機関 等
- } 施設長（管理者）又は従事する職員等

(4) 内容：

（介護ロボット開発の現状と新たな技術開発を探る）

- ①介護ロボットの展示・体験・相談 18小間
 - ②他分野からの介護利用の可能性を探る 3小間
 - ③次世代型福祉用具の可能性を探る技術シーズの紹介 3小間
- } 24小間

（シンポジウム）…… 要検討

- ①介護ロボットに係る政策の動向 ～未来投資戦略に基づく今後の展開～
 - ・厚生労働省老健局 高齢者支援課
 - ・経済産業省製造産業局 産業機械課
- ②介護ロボットを活用した介護技術開発モデル事業による成果報告

- ③介護施設等からの介護ロボット利活用レポート
- ④ニーズ・シーズ連携協調に係る取り組み
- ⑤介護ロボットの導入支援及び導入効果実証研究事業による成果報告
- ⑥ロボット介護機器開発・導入促進事業（効果測定補助事業）実施レポート
- ⑦他分野からの介護利用の可能性を探る
- ⑧現場ニーズと開発シーズをつなぐコーディネーターの役割と機能を考える

以上